



# 冬の災害に備える

## 積雪寒冷地の防災対策

帯広市の冬は氷点下20度を下回ることもあり、災害への備えに加えて、雪や寒さなども考えた冬の防災対策が必要です。

問い合わせ 総務課（市庁舎5階、☎65・4103）

**冬の防災対策**

**停電時に寒さから身を守る**

冬の災害に備えるには、夏とは違った防災対策が必要です。食料や飲料水などの備蓄に加え、帽子、手袋、ジャンパーなど、十分な防寒具を用意しましょう。（※頁下参照）

さらに冬は、暴風雪や送電線への着雪などによる停電の危険も高まります。停電が発生した場合、各家庭で使われている90パーセント以上のストーブが使用不能になると言われています。コンセント電源を必要としないポータブルス

**災害時の備えは万全ですか？**

非常時には避難所に持ち出しましょう

非常時の持ち出し品を備えましょう

避難所を確認しましょう  
市ホームページや「おびひろ暮らしと防災ガイド」で確認できます

トープなどの暖房器具を燃料と併せて準備しましょう。

**暴風雪（吹雪）の時の行動**

気象情報に注意し、暴風雪が予想されるときは、不要不急の外出を避けましょう。吹雪の時は、吹きだまりで歩けなくなったり、周囲が見えなくなったりします。車からも歩行者が見えにくくなります。やむを得ず歩いて外出するときは、目立つ色の服を着て、できるだけ複数人で行動しましょう。

**おびひろ暮らしと防災ガイドで避難所や避難経路を確認**

11月中旬までに、市内全世帯に配布した「おびひろ暮らしと防災ガイド」で、地域の避難所を再確認しましょう。

**積雪寒冷地の防災対策を再確認しよう**

- テレビやラジオの気象情報に注意しましょう
- 車にはスコップやけん引ロープなどを用意しましょう
- 日頃から車に十分な燃料を補給しておきましょう
- 玄関や窓周りを除雪し避難口を確保しておきましょう
- エンジンがかかる前に車のマフラー周りを除雪しましょう
- 吹雪など危険を避けるために車内で待機する時は車のエンジンを切りましょう
- 一酸化炭素中毒に注意
- 避難所に着いたら非常持ち出し品を活用しましょう
- ストーブの周りに可燃物を置かないようにしましょう
- 悪天候時の屋根の雪下ろしは控えましょう
- 停電に備えてポータブルストーブを準備しましょう

※ 冬に準備しておきたい非常時の持ち出し品リスト □防寒具（帽子、手袋、ジャンパーなど） □衣類（厚手の服、靴下など） □毛布 □防寒シート □カイロ □ヘルメット □食料・飲料水 □携帯ラジオ □懐中電灯 □常備薬・持病薬 □救急袋 □マスク □簡易トイレ □現金・貴重品など